

# 勉強したいと願う世界の子どもたちへ

## 学生社会起業団体 STUDY FOR TWO

Twitter: @STUDYFORTWOTUS  
 Mail: seiyasamasa@gmail.com  
 HP: [study for two] で検索

世界中には様々な社会事業団体が存在する。数人で集まり活動する場合はあれば、一つの会社として非常に大きな組織で活動する場面もある。社会貢献をする活動、事業の総称。民間等々で宗教や道徳動機に基づき孤児や病人貧民などの社会的弱者救済のために行われるフィランソピー・慈善事業の他、行政や団体による福祉事業・救済事業などがあり、日本の社会福祉法では、社会福祉事業が定められている。体制、人員、活動内容はそれぞれに違いますが様々な立場にある人々の支援をするという理念がある。その中でも学生が中心となつて、つい最近に設立された「STUDY FOR TWO」という学生起業団体がある。学生という立場の中で、一体どのような活動を行っているのか。私たちは本学の神楽坂キャンパスにSTUDY FOR TWOの支部がある。聞き、本学の工学部経営工学科の2年生、渡辺星矢さんにお話を伺った。

まず、STUDY FOR TWOとは「勉強したいと願う全ての子供たちが勉強出来る世界に」を理念に掲げて活動している学生社会起業団体である。平成22年5月に設立された。参加メンバーは約500人、60校

の大学に支部が存在する。活動内容は中古教科書の回収販売事業である。回収販売事業の主な内容として各大学に教科書の回収箱を設置し、学生達にとつてもらい、回収した教科書を大学の学生に販売する。そこで得たお金の8割を発展途上国の子ども達への奨学金として送っている。学生達は定価よりも安値で教科書を手に入るだけでなく、団体を通して買うことにより勉強のできない子ども達を支えるといったボランティア活動に参加することができるのだ。一方だけを支えるのではなく、両方を支える中継役として存在するのがこのSTUDY FOR TWOである。

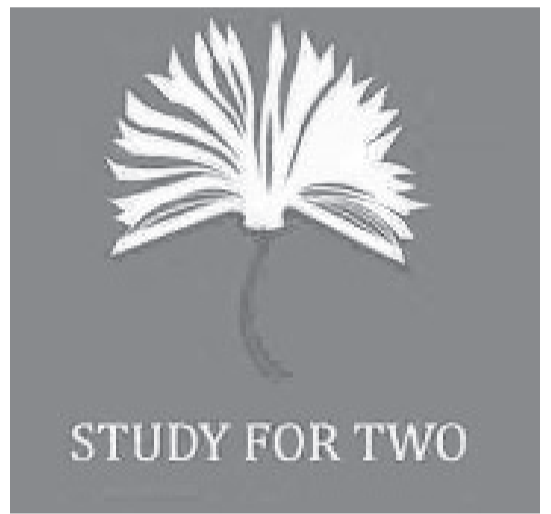
STUDY FOR TWOの内部の活動として合宿やバー同士の交流や情報提供のために行われている。毎週日曜日の朝に、朝活という名で行われるSTUDY FOR TWOの活動内容を話す機会があり、そこで新しく参加したい人たちに對する説明会が行われたりする。教科書を集める方法の改善、新しいステッカー、FacebookなどのSNSの運用方法などの話をしている。この両日の集まりは30人程の参加者で行

われている。学生なら誰でも自由に参加出来るので、興味のある人は是非とも参加してほしいとのこと。

取材を受けてくださった渡辺星矢さんはSTUDY FOR TWOの東京理科大学支部の責任者であり、またSTUDY FOR TWOを本学に持ち込んだ第一人者でもある。今年の5月に設立されたばかりなので、今の時期は準備段階として大きな活動はせず、SNS等を駆使して告知メンバを勧誘などを行っている。今年の8月現在、メンバー数は神楽坂キャンパスに3人、野田キャンパスに3人、葛飾キャンパスに2人といった状況で、まだまだ人員不足でこれから募集をかけるそうだ。将来的には各学部から10人程度のメンバーで活動していくのが理想なので、そのためにも最初STUDY FOR TWOを知ってもらうための告知を日々SNS等から発信している。主な活動は今学期から行い、試験前に回収箱を設置すると同時に、様々な部活や個人に声をかける方法で教科書を回収していく予定となっている。来年の新学期には教科書販売所を設けて本格的に教科書販売による活動を開始することだ。また、各々のキャンパスで一週間に一回のペースでミーティングを行うそうだ。また本学に公認団体として認められていないため談話室等でのミーティングを行うが、今後は部活に発展させて教室を借りて活動していきたいとのことだ。また、部室がもらえればそこに回収箱を設置し、継続的に教科書回収を行う。

渡辺さん自身はもともボランティアに興味はなかった。しかしSTUDY FOR TWOの代表のひとと話す機会があり、そこで話を聞いた時に非常に興味を湧いたため参加した。「他人がなんとかしてくれ」といった考えではなく、自分が活動することによって様々なものが変わることになり、やりがいを感じる。今回本学にSTUDY FOR TWOを持ち込んでみたいと思ひ活動を始めるといつか、責任者として自分まで出来るか分からなくなってきた。学生であるうちに出る限りのことを全力で取り組んでいきたいと思う」と渡辺さんは話した。

今年設立されたばかりのSTUDY FOR TWO、東京理科大学支部だが、今後の活動が非常に気になる。本格的に教科書回収・販売活動が開始されたら、理系の比較的値段の高い教科書も安価で手に入ることもできる。また、STUDY FOR TWOとしての活動も全うすることにより、今後さらに知名度を上げていくことが期待できる。お金を募金箱に入れることとは違い、教科書をSTUDY FOR TWOを通して購入することによって、自分の行動したことが形となって支援していることがわかる。渡辺さんは最後に、「今の部活



▲ STUDY FOR TWO のロゴマーク



▲コートジボワールでの活動 (写真中央が今回取材に応じた渡辺さん)

や学校生活とは一味違ったことをしてみたい方、自分から動いてみようと思う方は大歓迎です。自分が動くことにより力になれることを実感することが出来るので、飽きることがありません。お気軽にお声をお掛け下さい」と話した。

一人ひとりができる福祉行為には限界がある。一人が動いたって意味のない行動ではない。一人でも多くの人が福祉団体、福祉事業に参加することによって、STUDY FOR TWOが持ち込まれ、少しでも多くの人が参加してくれることを期待したい。

8月某日、筆者は広野町を訪れた。作業員を乗せたバス、汚染土を運ぶトラック、無人地帯と化した被災地を警備するパトカー、行き交う車の多くが原発事故関連のものであった。駅前市街地を歩いても、住人とすれ違うことは殆どない。今は津波で被災した稼働していない広野火力発電所の白い煙突が、曇り空を背景に一層目立つて見えた。

筆者はこの後、気仙沼市、大船渡市、釜石市など三陸各地を訪問したが、原子力災害の被災地は他と全く雰囲気が違って見えた。沿岸部が大きな被害を被ったこれら都市はまだ震災の爪痕が残るものの、漁業や工業など中心な産業の復興とともに、地域は活気を取り戻しつつある。鉄道な

# 論 説

ど交通網は少しずつだが復興が進んでおり、観光客が多く訪れていた。だが、原子力災害の被災地は長期にわたる除染などが必要となり、帰宅困難な状況の中にある。また、それらが完了した後も放射線の影響を心配する住人もおり、多くの人が帰ってきたくない。このようなコミュニケーションが崩壊しつつある環境では、被災前の暮らしを取り戻せていないようであった。現に、広野町の人口は震災前のおよそ10分の1程度しかない。

原発を稼働させ続けることで生まれるメリットは電気の低価格化のほか、学術的観点や経済的影響なども考えられる。確かに存在する。だが一方で、そのデメリットは非常に大きいというところが今回の震災でわかったであろう。しかし、だからと言って声高に「原発反対」を叫ぶのはどうだろうか。代替エネルギーの開発はまだまだ時間がかかる。言ってみれば原発とは、稼働させないで済むなら稼働させたくはないが、仕方なく稼働させている、いわば「必要悪」なのだ。「現状で電力は賄えているではないか」と反発する人もいるだろうが、それは火力発電所の長期間に渡るフル稼働、二酸化炭素の大量排出、電気代の高騰など、様々なリスクを抱えている現状であるということを忘れ

てはならない。ならば原発を再稼働させるのはどうだろうか。実際、福井県の大飯原子力発電所が震災後初めて稼働した。これは安全対策を施し、地震による影響を考えた上での再稼働であるという。しかしこれにもまた疑問が残る。はたして敷地内に活断層がなければ地震の影響はないのだろうか。そのことを勘案しないと、市井の人々は「放射能」と「放射性物質」の違いすらわかっていないように思う。では、本学に通う我々「理系」には、一体何が出来るのだろうか。「理系」というからには、科学の各分野を専修し、その分野で牽引役ともなれるだろう。そして、我々には問題を解決し、より良い未来を提案し続けることができるのだ。それは単に原発事故の対策だけではない。化学、物理から医療、看護、さらには都市計画に至る多様な我々に問うている。

技術的な問題もあって全廃面、我々の力を活かす機会が存在しているのだ。未曾有の大災害を経験した我々に、これから何が出来るのか。筆者は、ただ毎日の学業を単位を取ることだけを目標にしているのではないのだ、と痛切に感じた。本当に人のためになることを生涯の天職とすべく、あるいは何か社会に良い影響を与えるべく学業を修める必要があるのだから。だが筆者は、まだそこまで至る程深く学業というものを修めてはおらず、また多くの学生もそれを意識しているとは言いがたい状況だ。日々、何をすべきか、あるいは何のために学業を修めるのか、何のためにこの大学へ来ているのか。これを機にもう一度考えてみる必要があるだろう。被災地の現状が、なお収まらぬ原発事故が、

マイナビは東京理科大学のみなさんの就職活動を応援いたします。

# W. マイナビ 2015

マイナビは約72万人<sup>(注)</sup>の学生が登録する国内最大級の就職情報サイトです。

(注)マイナビ2014 2013年9月10日 調べ(登録学生数 調査対象)

<http://job.mynavi.jp/2015/>

理工大生の採用実績がある企業 2,000 社以上を掲載!

(注)マイナビ2014 2013年9月10日掲載(掲載)

W. マイナビ 3つのNo.1

- 会社説明会 情報掲載企業数 **NO.1** (2011年10月~2013年3月)
- 登録学生数 **NO.1** (2011年12月~2012年12月)
- マイナビだけで 応募可能な企業 **6,000社** (2010年10月~2013年10月)